

環境メッセンジャーへの道⑩一形にしよう！自分の環境メッセージ

## メッセージペンダント

環境メッセージを形として残してみませんか？ みんなでペンダントを作ってみよう！

小学校2年生以下の子供達を対象に紙粘土で作ったペンダントに自分が人へ伝えたいと思う環境メッセージや絵を自由に書いて持って帰ってもらいました。パビリオン内で紹介しているパンダやまた青い地球の絵など、それぞれが思い思いに描いた個性あふれる素敵なペンダントがたくさん出来上がり、子供達にも大好評でした。

### 【企画の詳細】

このメッセージペンダントは、

- 1) 私たちのパビリオンに来てくれた思い出を持って帰ってもらいたい
  - 2) 家に帰ってから地球環境について考えるきっかけにしてほしい
- ということから企画されました。

パビリオン内の東アジアの環境や絶滅の危機に瀕する動物の展示やクイズ、そしてニュース番組をイメージしたプログラム「環境ニュースステーション」などを見て感じたことをもとに、ペンダントに自由に絵を描いたり色をつけたりしてもらおうというのが最初のモチーフでした。粘土を使った形作りから来場者の方にやっていただいた方がより思い出に残るのでは？という意見もありましたが、粘土が完全に乾くには2、3日かかるので、粘土の形作りはあらかじめスタッフが準備し、完全に乾いた状態のペンダントに絵付けのみをしてもらうということになりました。また、ペンダントの形は話し合いの結果、パビリオン内の展示でも紹介しているパンダの形と地球をイメージした丸形の2種類としました。



ペンダントづくりに一生懸命！

開幕当初はやや少なかった愛・地球博の来場者数も会期半ばを過ぎてから増え続け、私たちが出展する地球市民村の来村者数も日々増えていたことから、必要となる粘土の量も相当量になるのではないかと予想されました。そこで、粘土を提供していただける協賛企業を探していたところ、私たちの今までの活動と今回の万博の出展内容に共感していただいた愛知県瀬戸市の中部電磁器工業株式会社から、環境にやさしいリサイクル紙ねんど「ホワイトクレイエコ」を50kg提供していただけることになりました。

紙粘土が届いた日からペンダントの形作りが始まり、出展初日の9月1日まで来る日も来る日も紙粘土のペンダントを作りました。そして首からさげるための何色もの紐、絵をつけるためのマジックとスタンプを用意しました。また、パビリオン内の展示やクイズなどで感じたことをもとにペンダントを作ってもらいたいということで、展示、映像等の一番最後のコーナーにテーブルと椅子を用意し、ついに不安を抱えながらの初日を迎えるに至りました。

ついに展初日！予想よりも多くのお客さんが来てくれました。そしてペンダント作りにもたくさんの子供達が参加してくれ、人があふれてスペースがない！なんていう一幕もあるほどでした。

その後毎日本当にたくさんの個性あふれる作品が生まれました。7色のペンを使ってパンダを描いた子、パビリオン内に展示してあるアモイトラを描いた子、きれいな花がいっぱい咲いた地球を描いてくれた子、子供と一緒に青い地球に色を塗っていたお母さん……。 「パンダがいなくなるといいね！！」と出来上がったパンダのペンダントを元気にスタッフに見せてくれた子もいて、私たちスタッフも元気をもらいました。

また、参加した親子の間では、ペンダントを作りながら「水や森を大切にしないとね」と子供に話しかけるお父さんや、「ゴミはリサイクルに出さないとダメなんだよ」とおかあさんに教えてあげる子もいました。

ペンダント作りを通して、家に帰ってからも家族で環境を考えるきっかけになり、そして小さな子供達が身近な環境に目を向けるきっかけになったのではないかと思います。

参加していただいた皆さん、そして協賛していただいた企業の方に感謝いたします。ありがとうございました。



モリゾー、キッコロは大人気



僕たちのペンダント、どう？

